

子どもの本の日フェスティバル	1
FBF2023ジャパンプース出展	1
IPA出版の自由委員会・報告	2
JBBY・希望プロジェクト	2

## 2023国際子どもの本の日 子どもの本の日フェスティバル



日本国際児童図書評議会（=JBBY）は、3月17日（金）～27日（月）に、**子どもの本の日フェスティバル**を対面とオンラインにて開催する。今年のテーマは「わたしは本 わたしを読んで」。今年は本にまつわる「お仕事」体験。お仕事をすると本がもっとおもしろくなる！

1967年、IBBY（国際児童図書評議会）によって、子どもに本のよこびを、大人にも子どもの本の面白さをつたえるため、童話作家アンデルセンの誕生日（4月2日）を「国際子どもの本の日」と定められ、世界中で子どもと本のお祭りがひらかれる。日本でもJBBYが毎年「子どもの本の日フェスティバル」を開催している。開催概要は以下の通り。

### ◆イベント概要

#### 【会場：童心社（文京区千石）】

「ほんやく家体験」世界の絵本の絵を読む

3月18日（土）10時半-11時、13時-13時半

「本のPR体験」3月18日（土）14時-15時半

#### 【会場：ブックハウスカフェ（千代田区神田神保町）】

「本屋さん体験」3月21日（火・祝）、3月25日（土）

#### 【オンライン開催】

「作家体験」3月25日（土）15時-16時半

「あそびうたと工作」3月26日（日）10時半-11時半

#### 【会場：ポプラ社（千代田区麹町）】

「編集者体験」3月27日（月）13時-14時

「科学あそび」3月27日（月）14時半-16時 ★

上記の他にもイベントが用意されている。詳細・申込みは、[こちら](#)から。申込先着順で定員あり（★以外はすべて無料）、対象年齢制限があるので要注意。

（問合せ JBBY TEL 03-6273-7703）

## フランクフルト・ブックフェア2023 ジャパンプース出展

世界で最大規模の国際ブックフェアである第75回フランクフルト・ブックフェア（=FBF）は、2023年10月18日（水）～22日（日）の日程でドイツ・フランクフルト市内のメッセ・フランクフルト（Messe Frankfurt）で開催する。

昨年の開催実績は、出展社数4,000社（95か国・地



2022年  
ウクライナブース

域）、ビジネス関係来場者数9.3万人

（121か国）、一般来場者数8.7万人

（106か国・地域）であった。（一社）

日本書籍出版協会（=書協）は、ジャ

パンプース（全体160㎡）を展開し、参

加出版社16社の内12社が現地に渡

航、版權輸出活動を精力的に行った。ブースでは、各社から提供を受けた約

1,400点の書籍を

展示するとともに関

連映像も放映し

た。ジャパンプース

には、40か国の出

版関係者（推計

3,600人以上）が訪れ、200件以上の商談が行われ、任意

のアンケート集計では、商談成立27件、成立見込み109作

品、継続件数340件がジャパンプース全体の実績となった。今

年もジャパンプースを出展予定であり、スケジュールは以下のよ

うになっている。

### 【FBF2023ジャパン・ブース企画 概要（予定）】

出展申込期間：2023年3月下旬～4月末

概要の詳細：3月下旬以降、決まり次第[書協HP](#)にて案内

出展料、出展規模等に関するご質問・出展意向は、現在で

も下記メールアドレスで受け付けている。

（問合せ 書協 ✉[jbpa.international@jbpa.or.jp](mailto:jbpa.international@jbpa.or.jp)）



2022年ジャパンプース

## IPA出版の自由委員会 ウクライナ支援呼びかける

国際出版連合（IPA）の出版の自由委員会が、2月7日にオンラインで公開ミーティング「戦争が出版の自由に与える影響-ウクライナ」を開催した。

ウクライナ出版社書店協会会長、ウクライナ・ペンクラブ副会長、ウクライナの出版社から2名、総勢4名が登壇し、ロシアとの戦争によるウクライナ出版界への影響や、自身の体験を語った。

ウクライナ出版社書店協会のアレクサンドル・アフォン会長は、2021年に1,053社あった出版社が2022年563社となったこと、2022年の書籍の発行に関して前年比、タイトル数で6割減少、発行部数で8割減少したこと、教育施設や図書館、博物館等の文化施設が爆撃されたこと、11か月間続く戦争の下、生命や財産、出版の自由が脅かされているが、出版社は存在をかけて活動を続けていることを報告した。また、同氏は海外の出版社に対して以下の協力を求めた。

ウクライナ語の書籍の海外での翻訳出版、海外におけるウクライナの書籍の購入や図書館への蔵書の勧め、国内の図書館を再建するための資金援助、家族、家、財産を失った出版社や書店の人々への経済的支援等。

[IPAのウェブサイト](#)ではミーティング要旨や4名の講演の動画を公開している。

## JBBY希望プロジェクト 在日ウクライナ児童の支援

日本国際児童評議会（JBBY）では、海外から日本に避難してきた子どもたちに本をプレゼントする活動「希望プロジェクト」を行っている。同プロジェクトは、ウクライナに限らず、いろいろな国から日本に来た子どもたちが対象で、日本に暮らす支援が必要な子どもたちのもとへ本を寄贈している。

**利用対象者：**日本に暮らす支援が必要な子どもたち（該当する子どもにかかわっている施設や団体、また個人でも可）

**プレゼントする本：**「文字がなくてもわかる子どもの本」「ウクライナ語の子ども本」のリストの中から、子ども1人につき1冊

**申込方法：**[サイト](#)よりほしい本を選び、E-Mailに必要事項を送付。サイトから申込書をダウンロードし、郵送・FAXでも可。折り返し担当者から連絡がいき、状況を伺ったうえでプレゼントを郵送（利用者側の送料等負担費用はない）。

プレゼントする本のリストやプロジェクトの詳細・申込方法は[こちら](#)

～このプロジェクトは皆様のご寄付で成り立っています～

### ■募金口座■

三井住友銀行 飯田橋支店（普通）0826819  
名義：日本国際児童図書評議会（ニホンコクサイジドウトシヨウウギカイ）

（問合せ JBBY Tel 03-6273-7703）

## 書協 刊行物のご案内

一般社団法人日本書籍出版協会（Tel 03-6273-7061）

日本書籍出版協会が発行している書籍のうち、直近の刊行物をご紹介します。

### 『2022年 出版再販・流通白書 No.25』

2022年における出版業界の再販・流通問題を1冊にまとめた白書。業界で取組む弾力運用の他、出版社、取次、書店での取組みを掲載。付録・再販契約の手引き【第7版】

### 『書籍の出版企画・製作等に関する実態調査（第6回）2021年』

日本書籍出版協会生産委員会が2021年に会員向けに実施したアンケート「書籍の出版企画・製作等に関する実態調査」の報告集。1994年から実施して今回で6回目。

### 『出版税務会計の要点 2023年（令和5年）』

出版業の特有な商慣習から発生する税務会計処理について、出版業の取引形態が税法等でどのような取扱いとなっているかについて根拠を示し、また最近の関係法令等の改正も加えて、出版税務会計の留意点としてまとめた内容。2023年版。

## 出版統計

書籍	1月期	前年同月比	1～月期	前年同期比	書籍出回り	1月期	前年同期比	1～月期	前年同期比
新刊点数	4,728点	98.7	点		推定出回数	5,594万冊	96.7	万冊	
新刊推定発行部数	1,731万冊	93.2	万冊		推定出回金額	706億円	96.6	億円	
新刊平均価格	1,311円	102.3	円		推定出回平均価格	1,262円	99.8	円	
新刊推定発行金額	227億円	95.3	億円		実売部数	1月期	前年同期比	1～月期	前年同期比
月刊誌	1月期	前年同月比	1～月期	前年同期比	書籍	3,625万冊	94.4	万冊	
発行銘柄数	1,610点	95.2	点		月刊誌	3,418万冊	85.3	万冊	
推定発行部数	6,283万冊	88.8	万冊		週刊誌	1,403万冊	80.4	万冊	
平均価格	722円	104.2	円		実売金額	1月期	前年同期比	1～月期	前年同期比
推定発行金額	454億円	92.6	億円		書籍	474億円	93.0	億円	
週刊誌	1月期	前年同月比	1～月期	前年同期比	月刊誌	245億円	88.9	億円	
発行銘柄数	75点	97.4	点		週刊誌	57億円	84.7	億円	
推定発行部数	2,424万冊	84.2	万冊		実売金額合計	777億円	91.0	億円	
平均価格	420円	105.5	円						
推定発行金額	102億円	88.9	億円						

- 銘柄数 月刊誌は1ヵ月、週刊誌は1週間平均の発行銘柄数
- 部数 配本されたと推定される部数。書籍出回り部数は新刊・重版の流通総量を表したものの。
- 平均価格 部数を加味した加重平均価格(税抜)
- 金額 発行部数・出回り部数を価格で換算した金額

[ 提供 出版科学研究所 (TEL 03-3269-1379) ]

## EVENT INFORMATION

### ■世界のブックデザイン2021-22

期間：2022年12月10日(土)～2023年4月9日(日)

時間：10時～18時

場所：印刷博物館

内容：「世界で最も美しい本コンクール」および、日本の造本装幀コンクール受賞作品、ドイツ、オランダ、オーストリア、フランス、カナダ、中国の各コンクール入選図書の展示

問合せ：印刷博物館 (TEL 03-5840-2300)

### ■平和の危機の中で考える「13年目の3・11」

日時：3月11日(土)14時～16時30分

場所：出版クラブ4F

参加費：無料/定員100人/中学生以上

内容：第1部：追悼 那須正幹さん『ねんどの神さま』を読む 朗読 中村敦夫。第2部：シンポジウム「3・11」は“今”に何を問うのか。パネリスト 朽木祥・高田ゆみ子・中澤晶子・濱野京子

詳細：<http://japanpen.or.jp/post-3072/>

問合せ：日本ペンクラブ (TEL 03-5614-5391)

### 編集後記

昨年の出版広報3月号をみると、オンラインセミナーばかりでしたが、今年はリアルイベントが多くなってきました。あちらこちらで、3年ぶり開催！の文字が躍っています。

今年の花粉は最大級と言われていますが、花粉症対策を完璧にして、心は軽く晴れやかにイベントに出掛けたいものです。(あ)

一般社団法人 日本書籍出版協会

発行人：樋口清一

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32

TEL : 03-6273-7061

FAX: 03-6811-0959

Web サイトもご覧ください

<https://www.jbpa.or.jp>